

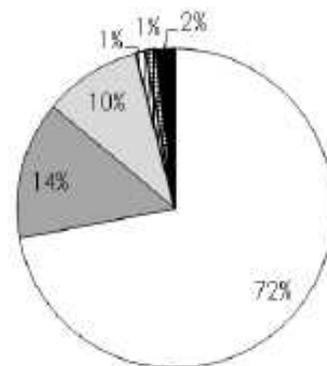
ベトナム インターネット環境

図表・6で示されたように、ベトナムでは所得に比べてインターネットの普及が進んでおり、おもに10社がインターネット接続サービスを提供している。2010年12月時点のベトナムのインターネット接続サービスのシェアを見ると、VNPTが最も高く（72%）、次いでFPT Telecom（14%）、Viettel Telecom（10%）の順になっており、これら3社で96%のシェアを有している（図表・15）。ベトナムのインターネット接続サービスの最高のシェア（VNPTの72%）は携帯電話（Vietteleの37%）より高くなっており、インターネット接続サービス市場におけるVNPTの存在感は強く、携帯電話市場より競争が緩やかであることが伺える。

なお、国際情報化協力センターによると、ベトナムの携帯電話の通信環境の高速化にあわせて、携帯電話利用者に占めるスマートフォンの割合は2009年の1%未満から2012年末には約21%、タブレットの割合は2012年末には5%に上昇する見込みである。今後、ベトナムでは4Gの高速通信サービスの導入にあわせて、スマートフォンやタブレットといった携帯端末を利用するためのブロードバンドの普及が急速に進むと考えられる。

図表・15 ベトナムのインターネット接続サービスのシェア（2010年12月時点）

□VNPT □FPT Telecom □Viettel Telecom □EVN Telecom ■SPT ■その他



出所)「アジア情報化レポート2013 ベトナム」(国際情報化協力センター)